

柔道男子100キロ級

羽賀



男子100キロ級3位決定戦でウクライナ選手(右)に勝ち、銅メダルを獲得した羽賀龍之介



リオ五輪



敗者復活から進撃

【リオデジヤネイロ共同】リオデジヤネイロ五輪第7日の11日、柔道男子100キロ級で羽賀龍之介(25)が旭化成IIが銅メダルを獲得した。日本勢の同階級のメダルは2000年シドニー五輪を制した井上康生以来。日本柔道のメダルは金

羽賀龍之介の話 目標は金メダルだけだったので、モチベーションがなくなっていた時に苦しかったけど、メダルがあるのとないのでは違うと思った。この銅メダルの経験を生かして、また皆さんに応援してもらえるように頑張りたい。

馬術の原田45位 日本勢予選敗退

馬術は馬場馬術で2日間に分けて行われた個人1次予選が終了し、日本勢は原田喜市(蒜山ホースパーク・山形市出身)の45位が最高で、いずれも2次予選に進めなかった。北井裕子(アシエンダ乗馬学校)は48位、黒木茜(スクーデリアエクイット)は50位、高橋正直(伊香保バードンファーム)は58位。

3、銅7の計10個となり、1992年バルセロナ五輪の最多記録に並んだ。昨年の世界選手権優勝の羽賀は準々決勝で敗れた後に敗者復活戦に勝ち、3位決定戦でアルチョム・ブロンシエンコ(ウクライナ)を下した。



発行所

山形新聞社

山形市旅籠町2-5-12
電話 代表023 (622) 5271

Copyright (c) 2016
Yamagata Shimbun

2016年

8月12日

〈金曜日〉

電子
速報版



特別号外

購読申し込み

フリーダイヤル
0120-81-8040

■やまがた
ニュースオンライン

yamagata-np.jp

■携帯・スマホ

yamagata-np.jp
/mobile/



詳しくは山形新聞を
ご覧ください。